

おが

創刊号

No. 1

2005 (平成17年)
4月1日号



主な内容

- | | |
|-----------------|--------------|
| P2～3…新生「男鹿市」始動～ | P8～15…職員配置 |
| P4～5…市民の声 | P16～20…お知らせ |
| P6～7…合併までのあしあと | P21…4月のカレンダー |

新生「男鹿市」今スタート！

3月22日、男鹿市役所本庁で行われた開庁式では、佐藤文衛職務執行者、佐藤一誠前男鹿市長、杉本博治前男鹿市議会議長、佐藤善市郎前若美町議会議長がくす玉割りを行い、新生「男鹿市」のスタートを祝いました。

ふたつの地域が融合し

3月22日、新生「男鹿市」が始動

男鹿市と若美町の合併による新生「男鹿市」が平成17年3月22日に誕生しました。古くから灌の頭水源で結ばれ、伝統文化の共有も多い2つの地域が、両市町の歴史を受け継いで、今、一つの市として新たな歴史を歩み始めようとしています。

美しい景勝地を持つ「男鹿市」と、米づくりを基幹産業とする「若美町」の融合により、豊かな自然の恵みに囲まれ美しい自然を生かした観光交流都市「男鹿市（おがし）」が、今、輝ける未来に向かって動き始めました。新生「男鹿市」の人口は3万6448人、面積は240・8平方キロメートル、新市の主役は市民のみなさん一人ひとりです。笑顔があふれるまちを目指して、新生「男鹿市」のまちづくりが始まります。

男鹿市役所、若美庁舎 新市の誕生を祝い、開庁式

午前7時から本庁となる男鹿市役所で開庁セレモニーが行われ、新市長が決まるまでの間、市長の職務を執行する佐藤文衛前若美町長が「なまはげのような本当の強さを持った男鹿市として大きく羽ばたくことを祈り、開庁を宣言する」と式辞を述べました。

市役所庁舎前では在任特例により両市町議員で構成される新・男鹿市議会議員や、市職員などが見守る中、勇壮な「なまはげ太鼓」の演奏とともに、くす玉が割られ、新しい市の誕生を祝いました。

また、男鹿市役所の分庁となる若美庁舎では、午前8時から開庁セレモニーが行われました。

男鹿市市議会議員と関係者、市職員、地域住民が見守るなか、前日降納された「若美町役場」の看板にかわり、佐藤男鹿市長職務執行者の手によって「男鹿市役所若美庁舎」「若美総合支所」の看板がかけられました。

庁舎前には男鹿市の市旗が掲揚され、また、庁舎正面には男鹿市の市章が新たに着けられ、地域住民の拠点となる総合支所として始動しました。



▲男鹿市役所で行われた開庁セレモニー。
力強いなまはげ太鼓が男鹿市の門出を祝いました。

『新市に寄せて』

男鹿市長
職務執行者

佐藤 文衛



3月22日、男鹿市、若美町の合併新市「男鹿市」が勇躍始動いたしました。この歴史的な合併の実現、そして、両地域の新たな連携にご尽力いただきました関係各位に深く感謝いたしますとともに、温かいご理解とご協力を賜りました両市町民のみなさまに心からお礼を申し上げます。

さて、新市が掲げた都市像は、住民と行政がまちづくりに対しての認識を同じくし、互いに力を合わせ、豊かで住み良い地域共同社会の実現を基本理念に「自然・文化・食を大切にする 観光交流都市」。そしてそれを推し進める「なまはげの心を全国へ」の気概であります。

本地域は、いまや秋田県を代表する伝統行事となった感のある、奇習「なまはげ」を守り、伝える、名実ともに唯一無比の「なまはげの里」であり、市民が幼い頃から記憶の奥底に育まれてきた、その「戒め」や「教え」は、今も昔も決して忘れてはならない敬虔なる社会生活の規範と呼べるものです。

また、幼い心にとって、恐れおののく存在のなまはげはまた、力強さの象徴でもあります。本当の優しさは強さとともにあり、この強さに裏打ちされた優しさこそ郷土の誇り、豊かな人間関係を生み出す礎であります。

そして、一人ひとりが、なまはげの心を胸に、融和と協調をもって、暮らし行くわが新市の姿を広く発信していくことこそ、想いを共有し、同じ目標に進む市民すべてのふるさと創りといえます。

新生なった「男鹿市」が一日も早く地域一体化を成し得て、いよいよもってその真価を発揮し、さらなる飛躍を遂げるために引き続きみなさまのご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

▶「若美町役場」は、「男鹿市役所若美庁舎」「若美総合支所」として業務がスタートしました。



▶新市としてスタートした3月22日の窓口。



若美庁舎では 新生「男鹿市」の婚姻届第1号

を語ってくれました。

若美庁舎内の総合支所窓口では午前8時30分から業務が開始しました。業務開始と同時に住民票の交付や、各種届けをする方が訪れました。記念すべき新生「男鹿市」の婚姻届第1号となったのは渡部和也さん・淑子さん（道村）。婚姻届の手続きに訪れ「新しい男鹿市のスタートの日に、自分たちも入籍して記念日にしたかった。第1号は狙っていた。将来は男鹿市で一番の農家になりたい」と一番にすることが好きな和也さんが将来の夢



▲新生「男鹿市」の婚姻届第1号の渡部和也さん、淑子さん。末永くお幸せに！！



高橋 香苗
(門前)

多くの人に男鹿の良さを伝えたい

この春高校を卒業し、ゴンタロー製菓(株)に入社しました。私は18年間男鹿で育ち、いつも心を和ませてくれる大きな自然や、温かく接してくれる地域の人たち、長年守り継がれている伝統行事など男鹿のいいところをたくさん見ってきました。ゴンタロー製菓は男鹿独特のお菓子を作り、その良さを多くの人たちに伝えていてと思います。私は男鹿のために働ける仕事に就きたいと思っていたので、この仕事を選びました。

新市誕生ということで、これからもっと多くの人に好まれる市になればと思います。一人では何もできませんが、会社に貢献することによって新「男鹿市」のためになると思います。多くの人に男鹿の良さを伝え、男鹿市がもっと賑やかになるよう、今私にできる事をがんばりたいと思います。



佐藤 智
(脇本)

もっと全国へPRできる男鹿市に

新生「男鹿市」の誕生おめでとうございます。若美町と男鹿市の合併は、農業を営む私としては本当に良かったと思っています。これを機に、行政でもさらに農業に力を入れてもらいたいです。また最近ではインターネットでいろいろな地域の人と話す機会がありますが、男鹿と聞いても場所を知らない人が少なくありません。新生「男鹿市」には、市の基盤産業が何かということをもう一度見つめ直し、男鹿市の良さをどんどん全国へPRしていただきたいと思っています。全国の人が「男鹿」といえば分かるような、また、住んでいる人が良いと思えるような、そんな男鹿市を期待します。



菅原 咲希
(角間崎)

男鹿市とともに

若美町と男鹿市が合併して、新しい男鹿市ができました。

私が住んでいる若美には良いところがたくさんあります。館山近隣公園の桜。チューリップまつり。水がきれいな宮沢海岸。どこにも負けないくらいおいしい名産のメロン。合併で一緒になる男鹿市にも良いところがたくさんあります。きれいでおいしい水が流れる『滝の頭』、たくさんのきれいな魚がいる『男鹿水族館GAO』。若美と男鹿の良いところを合わせて、私たちがもっと仲良く楽しく暮らせたらいいいと思います。

これらの良いところを秋田県の人だけでなく、全国、そして世界中の人たちに知ってもらえたらいいと思います。そのためにも、美しい自然を若美と男鹿のみんなで協力し合って大切に、新しい男鹿市を『私たちの大切なふるさと』として守っていきたいです。



吉田仁兵衛
(福川)

祝 新生「男鹿市」誕生

50年程前、昭和の大合併が叫ばれ「男鹿半島の上にある九町村が大合併すべきである」と話が出ましたが実現せず、男鹿市と琴浜村になりました。

平成の大合併が叫ばれると、男鹿市と若美町は合併協議を進めてきました。合併直前に不調に終わる他市町村の新聞記事を見るたびに心配していましたが、合併協議会関係の方々の並々ならぬご努力のお陰で新市誕生となりました。みなさんのご尽力に対し深く敬意を表するとともに、新生男鹿市誕生を心からお祝い申し上げます。

新市には、国定公園や脇本城跡、なまはげ、日本海からの新鮮な海産物、石油、広い農地からは米、メロン、果物などたくさんの資源があります。この資源を活用し『豊かな住みよい地域共同社会実現』のためにがんばりましょう。



山本 孝造
(首都圏男鹿の会会長)

新「男鹿市」誕生を祝す

新「男鹿市」誕生おめでとうございます。ふるさとを遠く離れていても、市報などを通じて合併協議会の様子を見聞きしてきましたが、大変な苦難・ご苦労を乗り越えて、若美町を含め地形的にもいい形の男鹿半島になったと思います。

昨年秋にふるさと探訪の旅で改めて屈指の風光明媚な男鹿の姿に感嘆の声を上げ、ふるさと再発見をしてまいりました。なまはげも、もはやどこへ行っても知らない人はいないくらいで、我々もふるさと宣伝で自慢できることが増えてきました。

新市誕生で新しく若美町の風光・産業面の特徴点も加えて、互いのいい面をより良く生かした、広範な観光・産業の地としてのまちづくりに大いに期待しておりますとともに、微力ながら男鹿の会でもふるさとのPRなどに協力して行きたいと思っています。

男鹿市の物語はここから始まる

交流し学びあって発展を



鈴木 均
(台島)

新「男鹿市」の誕生にあたって思うのは、農業の盛んな若美町と合併することで交流が増え、お互いに勉強になり、良くなる点が多いだろうということです。もちろん、漁業に携わる立場から考えても、特に不便になることは思い当たらず、合併は良かったと思います。

最近は漁業においても、取るばかりでなく、さまざまな分野への小売などといった販路の拡大や、販売方法の改善など、いろいろ変えていかなければならないと考えています。今後は、市民が毎日新鮮な野菜や魚を買うことができる場所を設けるなどという工夫も必要ではないでしょうか。

新・男鹿市に望むこと



戸部遼太郎
(湯端)

私の家は、稲作と花きの専業農家で、私も高校を卒業してすぐ就農しました。しかし、同年代で農家をしている人は少なく、県全体でみても農業を希望する若い人は減っていると思います。

私が「新・男鹿市」に希望することは、若い人が農業に興味を持てるような環境をもっと作って欲しいということです。『各家ごとという農業の閉鎖的なイメージ』を、若い就農者の交流や勉強会などを通して開放的なものに変えていきたいと思っています。

人が生きていくことの最も根底にある農業、そこに若い人が積極的に取り組む元気のある新市になっていくことを期待しています。

活気あふれるまちづくりを…



滝川 裕子
(野石)

数年前、静岡でバスガイドをしていたころ、日本各地を周りながらお客様にいつも自分が生まれ育った若美町の話をしていました。私が思っていた以上にこの町を知っている人がたくさんいてとても自慢の町でした。

そんな、慣れ親しんできた若美町の名前がなくなってしまうのは少し淋しい気もしますが、これから男鹿市として新たにスタートしていきます。基本方針に掲げている「自然、文化、食を大切に作る観光交流都市」として、豊富な観光資源をもっともっと県内外にアピールして行って、多くの人達がここを訪れて活気にあふれ、市民みんなが誇れる都市づくりが必要だと思っています。

そして、若い人達が定着できる場所、子ども達がいつまでも住み続けたいと思える環境づくりを期待しています。

新生「男鹿市」 いよいよスタート



目黒さくら
(男鹿中)

3月22日、男鹿が新しくなってスタートしました。男鹿市と若美町が合併してこれからの男鹿市がたのもしく思えます。平成12年に父や姉、兄の通った男鹿中学校が男鹿南中学校に統合し、今年3月には男鹿中小学校、椿小学校までが閉校してしまいました。男鹿市と若美町も人口減少と少子高齢化は避けられなかった現実です。中学校が統合して途中で南中に通うことになった兄は統合していろいろな面で良かったと言っていました。

これからの男鹿市は若美町と合併することによって、農業や観光、いろいろな面で生き生きと活動できることを期待します。

新市のさらなる飛躍に向け 男鹿市・若美町の歴史に幕

●男鹿市役所閉庁式



男鹿市・若美町の両市町で、新生「男鹿市」誕生に向け、これまで地域の拠点として市民や町民の皆さんに行政サービスを提供してきた「男鹿市役所」「若美町役場」の閉庁式が行われました。また、若美町では合併によりこれまでの町の名称が消えることから「閉庁式」を開催し、『若美町』に別れを告げました。

3月18日、男鹿市役所で『男鹿市役所閉庁式』が行われました。式では、佐藤一誠男鹿市長が市職員を前に「閉庁式までの3日間、市民の皆さんが不便にならないよう準備をお願いします。私は今回の合併で『新市は青い海と緑の豊かな自然を活かして産業の振興を図り、それを全国へ発信していくまちづくり』という好きな言葉があります。その言葉の実現に向け皆さんと一緒に夢を持ちながら新しい歴史づくりががんばっていければと思っています。閉庁式ですが、新しい市のスタートと考え、大きく羽ばたいていただきたい」と式辞を述べました。

男鹿市・若美町 合併までのあしあと

●平成16年（2004年）

2/15 男鹿市・若美町の2市町で「男鹿市若美町任意合併協議会」を設立し、第1回男鹿市若美町任意合併協議会開催。

3/18 男鹿市・若美町の両議会で、「男鹿市若美町法定合併協議会設立議案」が可決される。

3/24 男鹿市・若美町の2市町による「法定合併協議会設置協議書調印式」。



▲合併協議に向け固い握手協議会を開催

4/13 「第1回男鹿市若美町合併協議会」開催。合併に向け本格的な協議が始まる。合併の方式は新設合併(対等合併)、合併の期日は平成17年3月31日以内で決定。



▲平成17年3月8日まで、16回の協議会を開催

7/28 有効応募総数996件（応募総数1010件）22種類のの中から、新市の名称が「男鹿市」に決定。（第8回協議会）

10/18 新市の議会議員の在任特例期間は、1年1カ月に決定。（第12回協議会）

10/28 合併の期日は、平成17年3月22日に決定。（第13回協議会）

● 若美町閉町式



▶ 町政の発展に尽力された方々に感謝状が贈られました。

▶ コーラスグループによる若美町最後の「若美町町民歌」「若美町の歌」を合唱。



3月18日、若美町コミュニティセンターで「若美町閉町式」が行われました。

式では、町政発展のために尽力された協議員と行政委員会の委員の方々に感謝状が贈られました。

佐藤文衛町長が「歴史的にもつながらの深い男鹿市との合併は感無量のものがある。『若美町』の名前が無くなることには一抹の寂しさと、万感胸に迫るものがあるが、新『男鹿市』として新たなスタートに立てたことを喜びたい」と式辞を述べました。

町内の中学生が町の思い出を綴った作文を発表した後、町民有志のコーラスグループによる『若美町町民歌』『若美町の歌』の合唱が行われ、二つの歌とともに町の歴史を振り返りながら『若美町』に別れを告げました。

● 若美町役場閉庁式



▶ 町職員が見守るなか、町旗と役場の看板が降納されました。

3月21日、若美町役場で『若美町役場閉庁式』が行われました。

佐藤文衛若美町長が「今日で若美町役場を閉じることになるが、これまでの自分たちの仕事に自信と誇りを持って、男鹿市の職員として新しい部署でさらにながらばって欲しい」と最後のあいさつを述べました。式の最後には、これまで町の繁栄の歴史を見守り町の象徴として掲げられてきた町旗と、町民の役に立つ場所として行政サービスを提供してきた若美町役場の看板を降納し、若美町の35年の歴史に幕を降ろしました。

11/18 52協定項目すべての協議を終了。(第14回協議会)

11/24 県内で9番目となる「男鹿市若美町合併協定書調印式」。



▶さらなる地域発展に向け合併協定書に調印

11/25 男鹿市・若美町の両市町臨時議会で、廃置分合などに関する議案が可決される。

11/29 県知事に廃置分合(合併)申請書提出。

12/15 県議会で、男鹿市と若美町との廃置分合議案(市町合併の申請)について可決される。

12/16 県知事が廃置分合(合併)を決定し、総務大臣に届け出。

12/20 県知事から、男鹿市と若美町に合併決定通知書が交付され両市町長に手渡される。

● 平成17年(2005年)

1/17 男鹿市と若美町の配置分合(合併)について総務大臣より官報告示され、合併が正式に決定する。

2/14 新市の市長職務執行者に、佐藤文衛若美町長決定。(第15回協議会)

3/18 男鹿市で閉庁式、若美町で閉町式が行われる。

3/21 若美町で閉庁式。男鹿市若美町合併協議会を廃止。

新市「男鹿市」誕生

新たな歴史が始まる。

男鹿市役所 職員配置 庁舎案内

▶若美庁舎



▶本庁



市役所（本庁・若美庁舎など）の職員配置と庁舎案内をお知らせします。

【退職者】

部長	小坂 一明
局長	佐藤 慶昭
課長	今泉 秀男
所長	菅原 善一
課長	杉本 正広
課長	大淵 仁三
所長	長尾 景久
主幹	小野 定道
副事務局長	三浦 桂壽
主幹	金谷千代志
主幹	柴田 正
課長補佐	板橋 慶子
課長補佐	船木 浩
園長	加藤喜美子
園長	加藤 礼子
主査	江畑 恵子
主査	武藤東亜子
主査	加賀 安子
主査	船木美智子
主査	小坂 良子
主査	武田與志彦
主任	佐藤 洋子
保健師	佐藤 晴子
副看護師長	佐藤 洋子
主任看護師	小玉 和子
看護師	高桑 育子
看護師	澤木 栄子
准看護師	糸井 美貴
技能技師	鎌田 栄悦
技能技師	加藤 仁
技能主事	牧野 料介



市民福祉部長
加藤 金一



男鹿地区消防一部事務
組合派遣（部長待遇）
佐藤 政行



総務企画部長
板橋 継喜



男鹿みなと市民病院
事務局長
船木 宏



若美総合支所長
畠山 信英



産業建設部長
山口 淨児



企業局長
西方文太郎



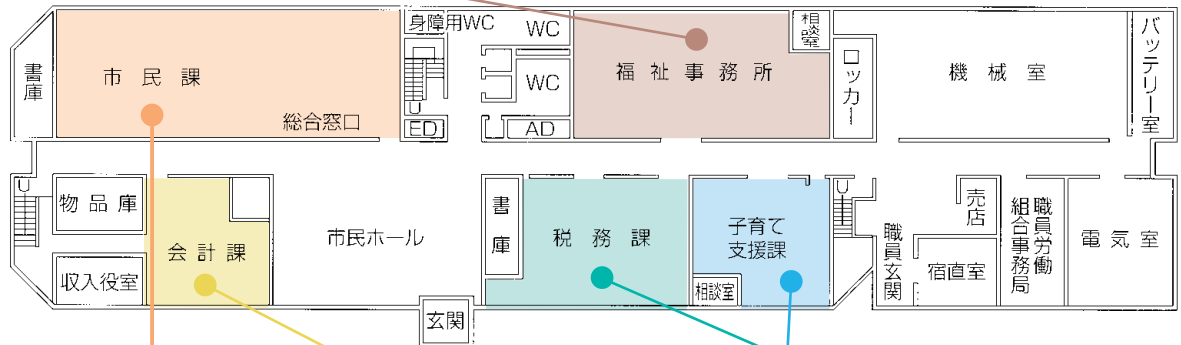
教育委員会事務局
教育次長
宇佐美金治



議会事務局長
菅原 政義

男鹿市役所
本庁1階

【福祉事務所】		所長補佐兼保護係長		主任	
所長	今泉 金正	所長補佐兼介護保険係長	宮崎 幾子	主任	鈴木由美子
副所長 (介護保険担当)	齋藤 豊		加藤 健	主任	夏井 大助
副所長 (保護担当)	児玉 守美	所長補佐兼福祉高齢者係長	千田 常己	主任	北嶋 三世
所長補佐 (保護担当) 兼庶務係長	鈴木 一男	主査	加藤 初子	主任	船木 晶子
		主査	吉田 悟	主任	前田 康宏
		主任	加藤 さつえ	主任	沼田 留美子
				主事	吉武 舞
				主事補	越後 誠
				主事補	齋藤 正記



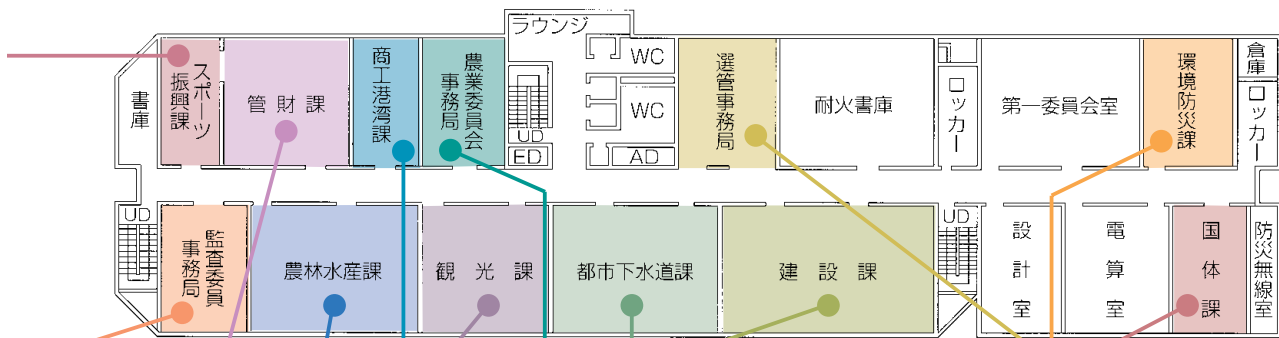
【市民課】	
課長	沖口 重博
主幹 (窓口サービス担当)	小坂 明
主幹 (国保担当)	笹渕 純
課長補佐 (窓口サービス担当)	伊勢谷 礼子
窓口サービス係長	夏井 正十
国保係長	山田 政信
主査	大井 みどり
主査	日黒 市秋
主査	島山 早苗
主査	鈴木 光之
主査	三浦 幸樹
主査	船木 亨
主任	薄田 郁子
主任	佐藤 静代
主任	伊勢谷 毅
主任	天野 品子
主任	渋谷 寿子
主事	小川 亨
主事	伊藤 千秋
主事補	佐藤 明子
主事補	高橋 孝太
主事補	靱山 佳代 (新採用)

【会計課】	
課長	佐藤 隆二
主幹	佐々木 邦子
課長補佐兼出納係長	武田 誓子
審査係長	木元 美千代
主査	平塚 敦子
主任	船木 玲子
主任	吉田 健護
主事補	船木 真澄美

【税務課】	
課長	齋藤 憲雄
主幹 (資産税担当)	菅原 一
主幹 (収納担当)	浅野 光男
主幹兼民税係長	杉本 光
課長補佐兼資産税係長	鈴木 強
課長補佐兼収納係長	佐藤 修吾
主査	船木 鈴子
主査	鎌田 米久
主査	黒沢 邦彦
主査	鈴木 昭博
主査	小澤 一志
主任	村井 寿
主任	米田 親
主任	佐藤 茂輝
主任	武田 健一
主任	佐藤 平
主任	三浦 大作
主事	原田 洋平
主事	平賀 幸太
主事	加藤 大介
主事	菅原 美樹
主事	船木 博登
主事	三浦 大成
主事補	吉田 広明
主事補	佐藤 真

【子育て支援課】	
課長兼船越児童福祉センター所長	
	鈴木 剛
主幹	三浦 喜光
課長補佐兼児童係長	
	島山 喜代和
庶務係長	水戸 瀬重孝
主査	鎌田 諒子
主査 (若美幼稚園子育て支援担当)	
	泉 文子
主任	古山 知子
主任	柏木 智子
主任	大淵 朋美
主事	池田 徹也

男鹿市役所 本庁2階



【農林水産課】

課長 …………… 清水 博己
主幹（水産漁港担当） …………… 三浦 源蔵
主幹（農業振興・農地林業担当） …………… 伊藤 敦
課長補佐兼農業振興係長 …………… 五十嵐 強
課長補佐兼農地林業係長 …………… 秋山 信悦
課長補佐兼水産漁港係長 …………… 佐々木勝之
管理係長 …………… 武藤 誠
主査 …………… 船木 聖徳
主査 …………… 濱野 勇幸
主任 …………… 伊藤 雄
主任 …………… 伊藤 修
主任 …………… 船木 正人
主事 …………… 大高 尚樹
主事 …………… 杉本 真希
主事 …………… 板橋 秀樹（新採用）
技師補 …………… 海野 頼慶

【商工港湾課】

課長 …………… 飯沢 吉三
主幹（商工労政担当） …………… 下間 秀春
主幹兼港湾振興係長 …………… 安田 哲大
課長補佐兼商工労政係長 …………… 太田 忠
主査 …………… 佐藤 信子
主査 …………… 田村 力
主任 …………… 鈴木 健
主事補 …………… 鈴木 貞太郎

【農業委員会事務局】

事務局長 …………… 佐藤 康利
局長補佐兼農地係長 …………… 伊藤 利信
局長補佐（若美総合支所駐在） …………… 佐藤喜代長
農政振興係長 …………… 石川 幸夫
主査 …………… 加藤 進子
主任 …………… 杉山 真一

【都市下水道課】

課長 …………… 沢木 隆
主幹（施設維持・下水道担当） …………… 薄口 光紀
主幹（都市整備担当） …………… 小坂 重弘
課長補佐（管理・施設維持担当） …………… 鎌口 富義
課長補佐（下水道担当） …………… 千口 俊彦
管理係長 …………… 佐藤 京子
施設維持係長 …………… 米口 公憲
下水道係長 …………… 三浦 秋広
主査 …………… 薄口 修一
主任 …………… 三浦 昇
主任 …………… 杉本 一也
主任 …………… 佐沢 敦也
主事 …………… 千葉 聡
技師 …………… 島山 靖隆

【建設課】

課長兼総合体育館建設工事事務所長 …………… 米谷 勝
主幹（維持担当） …………… 伊藤 惇大
主幹兼建築営繕係長 …………… 伊藤 岩男
課長補佐（工事担当） …………… 渡部 仁史
課長補佐兼維持係長 …………… 江畑 博
管理係長 …………… 齋藤久美子
工事係長 …………… 鈴木 章
主査 …………… 島山 喜美
主査 …………… 鎌口 重美
主任 …………… 齋藤 清彦
主任 …………… 佐藤 樹
主任 …………… 古仲 光輝
主任 …………… 貝塚 直樹
主任 …………… 三浦 一弥
主事補 …………… 佐藤 浩也

【選挙管理委員会事務局】

事務局長 …………… 佐藤 龍雄

【環境防災課】

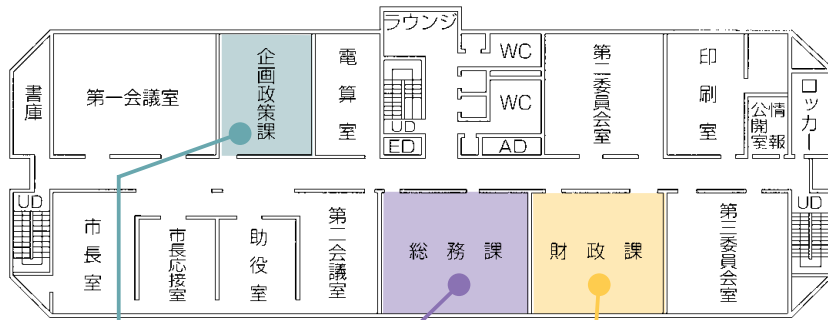
課長 …………… 高桑 和雄
課長待遇（八朗湖周辺清掃事務組合併任） …………… 佐藤 誠一
主幹（環境美化担当） …………… 石井 広司
主幹（生活安全担当） …………… 加藤 公洋
課長補佐兼生活安全係長 …………… 加賀 静男
環境美化係長 …………… 小野 博志
主査 …………… 三浦 愛子
主任 …………… 佐藤 一明
主任 …………… 小山田直樹
主任 …………… 加藤 洋平
主事 …………… 岩出 貴仁
主事補 …………… 内藤 卓也

【国体課】

課長 …………… 夏井 重利
主幹兼宿泊輸送係長 …………… 鎌口 伸悦
課長補佐兼競技式典係長 …………… 大坂谷栄樹
課長補佐兼総務企画係長 …………… 加藤 秋男
主査 …………… 鈴木 十
主任 …………… 齋藤 良子
主事 …………… 山本 忠明
主事補 …………… 村井 稔

総合体育館建設工事事務所
建設管理係長 …………… 藤原 誠

男鹿市役所
本庁3階



【企画政策課】

課長 …………… 高桑 直廣
 主幹 …………… 佐藤 晴樹
 課長補佐兼秘書広聴係長
 …………… 船木 道晴
 企画政策係長 …………… 伊藤 文興
 広報統計係長 …………… 伊藤 徹
 主査 …………… 柏崎 潤一
 主査 …………… 今泉 郁子
 主査 …………… 太田 穰
 主査 …………… 原口 徹
 主任 …………… 沼口 弘史
 主事補 …………… 佐藤 貴幸
 主事補 …… 黒川さやか (新採用)

【財政課】

課長 …………… 武田 英昭
 主幹 (入札契約担当) …… 佐藤 和栄
 主幹 (財政担当) …… 山本 春司
 課長補佐 (財政担当) …… 天野 綾子
 財政係長 …………… 佐藤 盛己
 入札契約係長 …………… 佐藤 透
 主査 …………… 湊 留美子
 主任 …………… 佐藤 順子
 主任 …………… 濱野 浩孝
 主事 …………… 三浦 雅仁

【総務課】

課長 …………… 三浦 正勝
 課長待遇 (男鹿地区衛生処理一部事務組合派遣) …………… 三浦喜代志
 主幹 …………… 湊 正人
 課長補佐 (職員担当) 兼電算管理係長
 …………… 渡部 源大

課長補佐 …………… 原口 良作
 課長補佐 (選挙管理委員会併任) 鈴木 金誠
 総務文書係長 …………… 木元 義博
 職員係長 …………… 八端 隆公
 主査 (選挙管理委員会併任) …… 鎌口真樹子
 主査 …………… 畠山 広司
 主任 …………… 濱野真津子
 主任 …………… 高桑 淳
 主任 …………… 岩谷 里美
 主任 (選挙管理委員会併任) …… 天野 秀一
 主任 …………… 三浦 弘美

【スポーツ振興課】

課長 …………… 江島 昭光
 主幹 …………… 菅原 正幸
 スポーツ振興係長 …… 鈴木 満
 施設管理係長 …………… 小野 正信
 主査 …………… 高橋 誠
 主任 …………… 前田 悦子
 主事 …………… 佐藤 誠

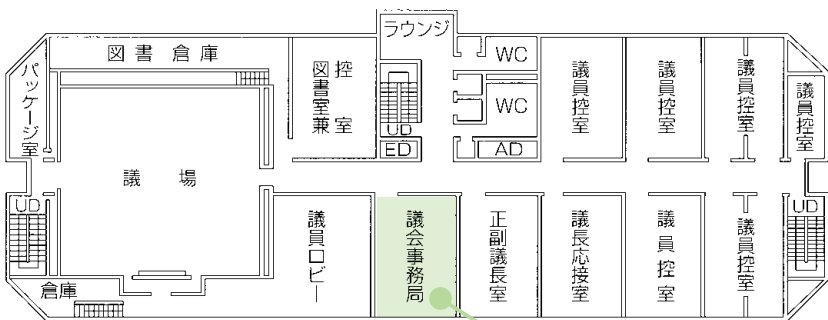
【監査委員事務局】

事務局長 …………… 小坂 幸明
 監査係長 …………… 石川 静子
 主事 …………… 清水 国裕

【管財課】

課長 …………… 加藤 久大
 主幹 (地籍調査担当)
 …………… 金 克己
 主幹兼管財係長兼車両係長
 …………… 高橋 郁雄
 課長補佐兼地籍調査係長
 …………… 安藤 金秋
 主査 …………… 秋山 恵子
 主査 …………… 小玉 英喜
 主査 …………… 岩谷 一徳
 主任 …………… 日黒 真樹
 主任 …………… 武藤 力守
 主事 …………… 仲塚 輝美
 主事 …………… 原口 一生
 主事補 …………… 今津谷公隆
 技能技師 (配車担当車庫長)
 …………… 大坂谷政悦
 技能技師 (整備担当車庫長)
 …………… 鈴木 清美
 技能技師 …………… 齋藤 兼正
 技能技師 …………… 佐藤 勝春
 技能技師 …………… 原口 仁
 技能技師 …………… 伊藤 一

男鹿市役所
本庁4階



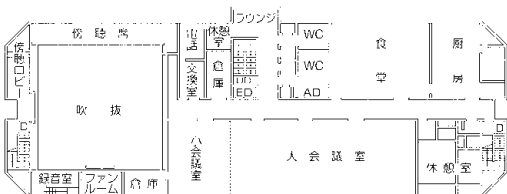
【議会事務局】

次長兼庶務係長 …… 加藤 謙一
 局長補佐兼議事調査係長
 …………… 小玉 一克
 主査 …………… 日黒 雪子
 主査 …………… 畠山 隆之
 主査 …………… 湊 智志
 主任 …………… 村井千鶴子

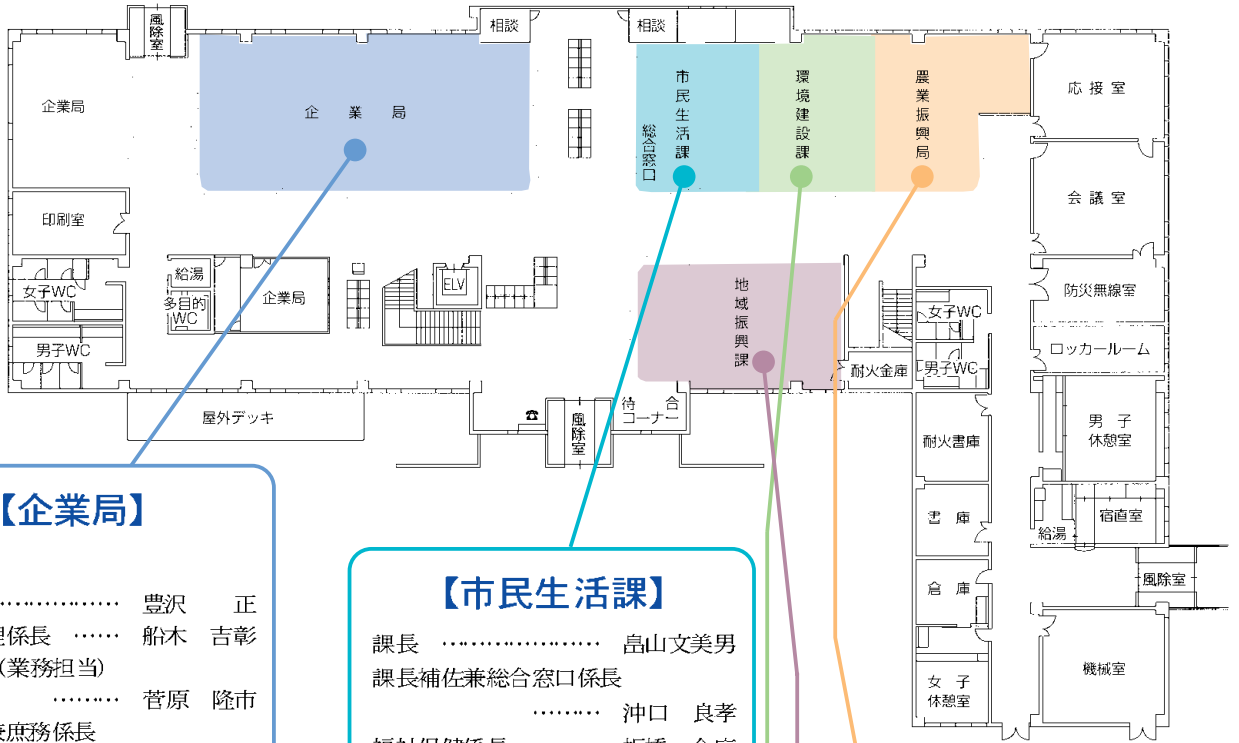
【観光課】

課長 …………… 三浦 進
 主幹 …………… 杉山 武
 課長補佐 …………… 日黒 重光
 観光係長 …………… 日黒キミエ
 施設係長 …………… 菅原 信一
 主査 …………… 菅原 章
 主任 …………… 佐藤 秀樹
 主任 …………… 清水 幸子
 主事 …………… 大友 洋文

男鹿市役所本庁5階



男鹿市役所 若美庁舎 1階



【企業局】

管理課

課長 …………… 豊沢 正
 主幹兼経理係長 …… 船木 吉彰
 課長補佐（業務担当） …… 菅原 隆市
 課長補佐兼庶務係長 …… 江畑 英悦
 課長補佐（営業担当） …… 下間 豊
 業務係長 …………… 三浦 俊博
 営業係長 …………… 古仲 鋼一
 主査 …………… 大高口鶴子
 主査 …………… 佐藤 孝悦
 主査 …………… 安藤 健
 主任 …………… 高桑 康
 主任 …………… 後藤 和美
 主事 …………… 高橋 拓

水道工務課

課長兼根本浄水場長 …… 鎌田 幸男
 主幹兼水質係長 …… 仲村 充弘
 課長補佐兼漏水対策係長 …… 古仲 信春
 課長補佐（維持担当） …… 武内 義行
 課長補佐兼工務係長 …… 大高 広昭
 維持係長 …………… 大野 正博
 主査 …………… 今泉 博
 主任 …………… 佐藤 健
 主任 …………… 伊藤由美子
 技師補 …………… 小野 肇
 技師補 …………… 佐藤 陽一
 技師補 …………… 大淵 和人

ガス工務課

課長兼ガス製造所長 …… 伊藤 兼道
 主幹 …………… 佐藤 稔
 課長補佐（製造供給担当） …… 三浦 猛

課長補佐兼工務係長 …… 貝塚 克二
 課長補佐兼製造供給係長 …… 小玉 章
 課長補佐 …………… 安藤 恒昭
 主査 …………… 貞壁 孝彦
 主任 …………… 目黒 一人
 主任 …………… 鎌田 武志
 技師 …………… 伊藤 拓

【市民生活課】

課長 …………… 島山文美男
 課長補佐兼総合窓口係長 …… 沖口 良孝
 福祉保健係長 …… 板橋 金広
 主査 …………… 大山由美子
 主査 …………… 福口ひとみ
 主査 …………… 伊藤 睦子
 主査 …………… 佐藤 恵子
 主査 …………… 船木久美子
 主任 …………… 千釜由紀子
 主任 …………… 鈴木 俊市
 主任 …………… 一ノ関満寿美
 主事 …………… 角崎 倫子

【環境建設課】

課長 …………… 北島 豊
 課長補佐 …………… 吉田 重男
 生活環境係長 …… 蓬田 司
 建設係長 …………… 山田 康幸
 主任 …………… 千釜 博幸
 主任 …………… 船橋 強太

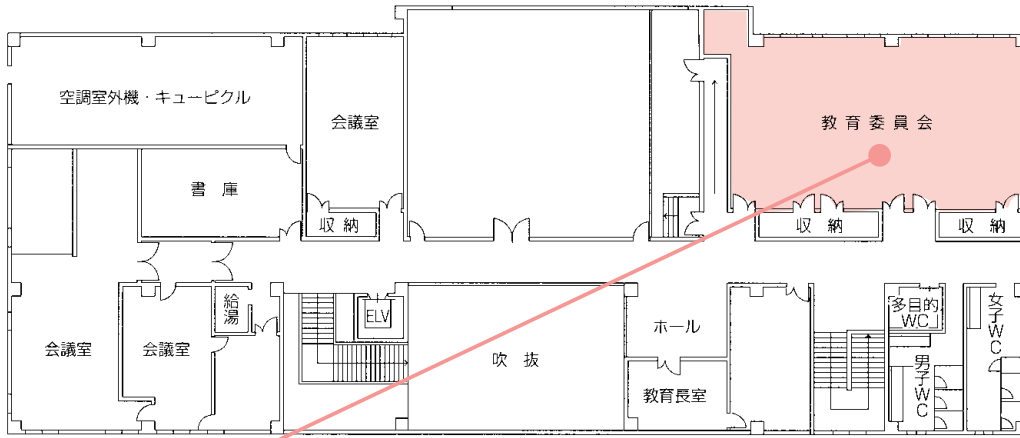
【農業振興局】

局長 …………… 三浦 光博
 副局長 …………… 渡辺 敏秀
 農地整備係長 …… 安藤 庄光
 農業振興係長 …… 中口 和彦
 主査 …………… 川崎 耕一
 主査 …………… 武田 誠
 主査 …………… 加藤 隆一
 主査補 …… 吉田 新（新採用）

【地域振興課】

課長 …………… 加藤 透
 課長補佐 …………… 佐藤 庄二
 市税係長 …………… 進藤 一
 地域振興係長 …… 佐藤 正基
 主任 …………… 佐藤寿美子
 主任 …………… 谷 鉄也
 主任 …………… 佐藤 淳
 主任 …………… 島山 裕幸
 主事 …… 吉田 政直（新採用）

男鹿市役所 若美庁舎2階



【教育委員会】

教育総務課

課長 …………… 戸部 秀悦
 主幹兼施設管理係長 …………… 武田 進芳
 庶務係長 …………… 鎌田 栄
 主任 …………… 濱野美紀子
 主事補 …………… 米屋 沙織

学校教育課

課長兼給食センター所長 …………… 伊藤 章
 主幹 …………… 関谷 正人
 主幹兼指導係長 …………… 夏井 嘉則
 学事係長 …………… 柴田 和彦
 主査 …………… 三浦久美子
 主事 …………… 小玉 千春

生涯学習課

課長 …………… 佐沢 篤雄
 主幹兼文化財係長 …………… 泉 明
 課長補佐兼生涯学習係長 …………… 江畑 諒公
 主査 …………… 清水 信裕
 主任 …………… 竹内 弘和
 主任 …………… 工藤 直子
 主事 …………… 伊藤 俊博

【外部機関】

【保育園・幼稚園】

船川保育園

園長 …………… 橋本 典子
 園長補佐 …………… 鎌田 牧子
 主査 …………… 高野 桂子
 主査 …………… 仲塚 鈴香
 主任 …………… 安藤由美子
 保育士 …………… 藤田 厚子
 技能技師 …………… 杉本 照子
 技能技師 …………… 安田 桃子

船越保育園

園長 …………… 夏井みつ子
 園長補佐 …………… 中村美智江
 主査 …………… 宮腰 真澄
 主査 …………… 日黒 妙子
 主査 …………… 鈴木 聖子
 主任 …………… 太田真樹美
 主任 …………… 田口志麻子
 保育士 …………… 谷口 裕美
 技能技師 …………… 山内 久子
 技能技師 …………… 夏井満志子

脇本保育園

園長 …………… 江畑 誠子
 園長補佐 …………… 三浦 雅子
 主査 …………… 阿部 恵子
 主査 …………… 加藤千佳子
 保育士 …………… 佐々木佳菜子
 技能技師 …………… 加藤美枝子
 技能技師 …………… 松崎 京子

五里合保育園

園長 …………… 大野 栄子
 主査 …………… 佐藤久美子
 主査 …………… 矢野 千代
 主任 …………… 鎌田真由子
 主任 …………… 杉本利香子
 技能技師 …………… 古仲まつ子
 技能技師 …………… 荒木 真弓

北浦保育園

園長 …………… 鈴木 早苗
 主任 …………… 加藤 倫子
 主任 …………… 安田志賀子
 保育士 …………… 小林美和子
 技能技師 …………… 伊藤ルリ子
 技能技師 …………… 櫻田 洋実

男鹿中へき地保育園

主査 …………… 佐藤るり子
 技能技師 …………… 齋藤美代子

南保育園

園長 …………… 秋山 協子
 園長補佐 …………… 大淵 玲子
 主査 …………… 小坂 優子
 主査 …………… 山田真由美
 主査 …………… 加藤 幹子
 主任 …………… 佐藤真紀子
 保育士 …………… 菅原 恵子

玉ノ池保育園

園長 …………… 大坂谷佐代子
 園長補佐 …………… 佐藤 裕子
 主査 …………… 佐藤百合子

【出張所】

北浦出張所

所長 (北浦公民館長併任) …………… 鈴木 彦人

脇本出張所

所長 (脇本公民館長併任) …………… 粕山 壽昭

船越出張所

所長 (船越公民館長併任) …………… 大野 敏勝
 主任 …………… 天野ゆみ子

五里合出張所

所長 (五里合公民館長併任) …………… 鎌田 和裕

男鹿中出張所

所長兼男鹿中へき地保育園長 (男鹿中公民館長併任) …………… 鎌田 君夫

戸賀出張所

所長 (戸賀公民館長併任) …………… 宮崎 秀夫

椿出張所

所長 (椿公民館長併任) …………… 佐藤 慧

主査 …………… 大淵 薫
 保育士 …………… 中田 郁江

若美幼稚園

園長 …………… 三浦 幸子
 教頭 …………… 武田 里美
 教諭 …………… 清水 幸子
 教諭 …………… 中田 圭土

【男鹿みなと市民病院事務局】

総務課

課長 …………… 夏井八洲大
課長補佐兼庶務係長
…………… 松橋 光成
經理係長 …………… 菅原 長
主査 …………… 堀井 春男
主任 …………… 加藤 明人
主事 …………… 伊藤 薫
主事 …………… 菅原 智也

医事課

主幹兼医療相談係長
…………… 甲田 正洋
医事係長 …………… 佐藤 守
主事 …………… 渡部 健

〈医療職〉

男鹿みなと市民病院

院長 …………… 佐藤 公生
副院長兼放射線科科長兼給食科科長
…………… 古谷 雅幸
副院長兼手術室科長
…………… 下間 信彦

診療部

診療部長兼リハビリテーション科
科長 …………… 坪井 純
診療部長兼救急センター科長兼検査
科科長 …………… 吉田 賢志
神経内科部長 …………… 加藤 一鷹
小児科部長 …………… 松野 健一
外科部長 …………… 木村 圭介
産婦人科部長 …………… 長谷川瑞代子
内科科長 …………… 市川 喜一

リハビリテーション科

主席技師 …………… 佐藤 丈純
主任技師 …………… 門間 博明
技師 …………… 花田 定晴

放射線科

技師長 …………… 西村 一雄
副技師長 …………… 千田 孝義
主任技師 …………… 大関 一二
主任技師 …………… 伊藤 勝行
技師 …………… 吉田 達也

人工透析室

主任技師 …………… 佐藤 郁郎
技師 …………… 佐藤 繁善

薬剤科

薬局長 …………… 千田 均
主席薬剤師 …………… 山本 照子
主席薬剤師 …………… 古仲 真
主任薬剤師 …………… 小野 若子

検査科

副技師長 …………… 佐藤 洋子
主席技師 …………… 小野ひとみ
主任技師 …………… 小玉 力
主任技師 …………… 糸井 正一
主任技師 …………… 伊藤 良子

看護部

総看護師長 …………… 菅原トシエ
副総看護師長兼看護師長
…………… 三浦 貞子
看護師長 …………… 鎌田チヤ子
看護師長 …………… 伊藤 松子
看護師長 …………… 吉田栄喜子
看護師長 …………… 岩谷りつ子
看護師長 …………… 斎藤 芳子
看護師長 …………… 笹渕寿津子
副看護師長 …………… 加藤 リツ
副看護師長 …………… 佐藤 晶子
副看護師長 …………… 熊谷 慈美
副看護師長 …………… 水野 淳子
主任看護師 …………… 伊藤 幸子
主任看護師 …………… 秋山 貞子
主任看護師 …………… 渋谷真知子
主任看護師 …………… 米谷 京子
主任看護師 …………… 糸井 光
主任看護師 …………… 原田 洋子
主任看護師 …………… 小島みどり
主任看護師 …………… 薄田 節子
主任看護師 …………… 加藤 直美
主任看護師 …………… 湊 あや子
主任看護師 …………… 澤木 恭子
主任看護師 …………… 大場富美子
主任看護師 …………… 渡部 人美
主任看護師 …………… 真壁 真佐子
主任看護師 …………… 畠山 玲子
主任看護師 …………… 山口 裕美
看護師 …………… 小玉 エツ
看護師 …………… 加藤 ミキ
看護師 …………… 吉田 伸子
看護師 …………… 草薙 愛子
看護師 …………… 鎌田エミ子
看護師 …………… 天野三紀子
看護師 …………… 目黒 敏子
看護師 …………… 竹田 校子
看護師 …………… 若山みどり

看護師 …………… 湊 宏規
看護師 …………… 天野 美紀
看護師 …………… 西村 由紀
看護師 …………… 國安 由佳
看護師 …………… 下間 緑
看護師 …………… 船木 和子
看護師 …………… 安藤 松吾
看護師 …………… 伊藤 貞智子
看護師 …………… 中村 幸恵
看護師 …………… 畠山しのぶ
看護師 …………… 高野菜穂子
看護師 …………… 齊藤 貞由美
看護師 …………… 森川 保
看護師 …………… 伊藤 弥生
看護師 …………… 原田 千帆
看護師 …………… 柴田美恵子
看護師 …………… 鈴木しのぶ
看護師 …………… 高橋 貴子
看護師 …………… 渡邊 恵子
看護師 …………… 西村 千春
看護師 …………… 金 法子
看護師 …………… 石川 瞳
看護師 …………… 畠山由香子
看護師 …………… 堂場 史代
看護師 …………… 小松 由希
看護師 …………… 徳原 豊子
看護師 …………… 菊地 幸子
看護師 …………… 嵯峨絵里子
看護師 …………… 佐藤 優子
看護師 …………… 三浦 宙子
看護師 …………… 目黒 和実
看護師 …………… 小玉 景子
看護師 …………… 船木 信子
看護師 …………… 篠原 由華
看護師 …………… 石川小百合
看護師 …………… 武藤 麻実
看護師 …………… 鎌田 裕美
看護師 …………… 吉永 智子
看護師 …………… 鈴木 智都
看護師 …………… 畠山久美子
看護師 …………… 竹内 幸子
准看護師 …………… 近藤 安子
准看護師 …………… 高桑 幸子
准看護師 …………… 嶋宮 薫
准看護師 …………… 石川ふみ子
准看護師 …………… 畠山志津子
准看護師 …………… 大淵のり子
准看護師 …………… 小浜 博子
准看護師 …………… 小玉 良子
准看護師 …………… 星 康子
准看護師 …………… 小山口智子
准看護師 …………… 鈴木寿々子

【保健福祉センター】

保健福祉センター

所長兼保健センター所長兼在宅支援センター所長 …… 武藤 一
副所長兼在宅支援センター副所長 …… 船木 孝行
副所長兼管理係長 …… 近藤 正勝
主査 …… 桑原 啓子

保健センター

副所長 …… 柴山 文子
所長補佐兼すこやか子育て係長 …… 伊藤 友子
いきいき健康係長 …… 石井美貴子
主査 …… 安田 玲子
主任 …… 清水 有香
保健師 …… 山口貴久子
保健師 …… 島山 陽子
保健師 …… 佐々木明美

在宅介護支援センター

主査 …… 佐藤 延明
保健師 …… 植村 宏子

【若美コミュニティセンター】

所長 …… 鈴木 初男
主査 …… 加藤 義一
主事 …… 今野 誠

【若美総合体育館】

館長（国体課主幹併任） …… 笹川 貞俊
館長補佐（国体課長補佐併任） …… 戸祭 洋一
主任 …… 三村 広光
主事補 …… 鈴木 薫

【清掃センター】

所長 …… 加藤 興二
所長補佐 …… 笹渕 光彦

【図書館】

館長兼船川港公民館館長兼市民ふれあいプラザ館長 …… 吉田 昌二
館長補佐兼管理係長兼船川港公民館館長補佐兼市民ふれあいプラザ館長補佐 …… 佐々木 宏
主任（船川港公民館・市民ふれあいプラザ兼務） …… 佐藤 トヨ
主事（船川港公民館・市民ふれあいプラザ兼務） …… 富岡 基子

【市民ふれあいプラザ】

技能主事 …… 菅原 勝

【市民文化会館】

館長兼中央公民館館長兼船川北公民館館長 …… 清水 保弘
館長補佐兼中央公民館館長補佐兼船川北公民館館長補佐 …… 佐藤 克麿
主査兼中央公民館主査兼船川北公民館主査 …… 森山 範男
主任（中央公民館・船川北公民館兼務） …… 米谷 睦子

【船川北公民館】

技能主事 …… 口村 彰朗

【給食センター】

主査 …… 鈴木 博
主事 …… 吉田 平（新採用）

【学校関係】

船川第一小学校

技能主事 …… 鎌田 正博
技能主事 …… 加藤 立夫
技能技師 …… 加藤 佐由子
技能技師 …… 近藤 照子

船川南小学校

技能主事 …… 安藤 卓郎
技能主事 …… 佐沢 孝博

脇本第一小学校

技能主事 …… 小坂 誠
技能主事 …… 佐藤 日富

脇本第二小学校

技能主事 …… 夏井 一好

船越小学校

技能主事 …… 天野 豊
技能主事 …… 鎌田まゆみ
技能技師 …… 吉田恵里子
技能技師 …… 吉田 聖子

五里合小学校

技能主事 …… 糸井 尚
技能技師 …… 梅田加奈子
技能技師 …… 菅原 京子

北陽小学校

技能主事 …… 今井 英子
技能主事 …… 石川 光広

男鹿南中学校

技能主事 …… 安田恵美子
技能主事 …… 原田三己夫
技能技師 …… 近藤 真弓
技能技師 …… 桜庭喜久子

男鹿東中学校

技能主事 …… 夏井 金弥
技能主事 …… 安田 忠夫
技能技師 …… 佐藤あき子
技能技師 …… 船木 節子
技能技師 …… 古仲 和枝

五里合中学校

技能主事 …… 嶋宮 満

男鹿北中学校

技能主事 …… 加藤 重定
技能主事 …… 菅原 裕子
技能技師 …… 澤木 浩子
技能技師 …… 勝又 みよ

秋田県から男鹿市に 権限が移譲されます

県では、市民の皆さんにとって利便性の高い行政サービスについて、市への移譲を進めています。4月1日からは、今まで県庁や県の地域振興局でなければできなかった次の事務に関する手続きが、市の窓口などでできるようになります。

■移譲事務（担当）

- 受胎調節実地指導員の指定、低体重児の届出の受理、未熟児の保護者に対する訪問指導（保健福祉センター、若美総合支所市民生活課）
- 身体障害者相談員の委託、知的障害者相談員の委託（福祉事務所）
- 分収林契約の募集等の届出の受理（農林水産課）

- 市の区域内に新たに生じた土地の確認の届出の受理、市の区域内の町および字の区域の変更の届出の受理（総務課）
- 都市計画区域内における路外駐車場の設置の届出の受理（都市下水道課）

▼問い合わせ／総務課
☎23 | 2 1 1 1 内線3 2 0 4

代表番号
男鹿市役所
☎23-2111
若美庁舎
☎46-2111

生ごみ処理機(器)購入に補助します

一般家庭から排出される一般廃棄物の自己処理を推進し、ごみの減量化を図るため、生ごみ処理機(器)の購入経費の一部を補助します。

【補助対象】

- ①市内に居住していること
- ②市内の販売店から購入した処理機(器)であること
- ③市内に処理機(器)を設置できる方であること
- ④4月1日以降に購入した処理機(器)であること

【補助金の額】

生ごみ処理機(器) 1基につき購入費の2分の1。ただしコンポスト化容器は5000円、電気式生ごみ

高齢者・障害者住宅整備資金貸付

高齢者・障害者の居室1室の増改築またはトイレ・浴室の改造などを必要とし、自力では整備困難であることを条件とします。

いずれも年利3%または資金運用部資金の貸出利率のいずれか低い方

処理機は2万5000円を上限とする。100円未満の端数は切り捨て。

【補助予定数】

- ・コンポスト化容器10基
- ・電気式生ごみ処理機20基

【申し込み】

申請書と請求書に領収書の写しを添えて、男鹿市役所環境防災課・若美総合支所環境建設課または各出張所に提出してください。

【受付期間】

平成18年3月31日まで

▼問い合わせ

環境防災課

☎(23)2111 内線2807

環境建設課

☎(46)2113

の利率を適用し、据置期間は2年以内(1年以内は無利子)で、償還方法は元利均等半年賦据置期間経過後8年以内です。

【貸付時期】

7月以降

【申し込み】

4月28日(木)まで

◇高齢者住宅整備資金

【対象者】市内に居住する60歳以上の高齢者と同居する親族

【貸付金額】1世帯100万円

◇障害者住宅整備資金

【対象者】市内に居住する身体障害

固定資産税課税台帳への価格登録および縦覧

平成17年度固定資産税課税台帳に価格などを登録しました。平成17年度固定資産税が賦課される方は次の通り縦覧できます。

【期間】

5月31日(火)まで

午前8時30分～午後5時

(土・日曜日、祝日を除く)

【会場】男鹿市役所税務課

若美総合支所地域振興課

【縦覧できる方】

平成17年度固定資産税が賦課される方。

※土地・家屋を所有していても、免税点未満で課税されていない方や非課税の方は縦覧できませんので、申

者手帳1～4級保持者・療育手帳(A)の該当者または特に認められた障害者と同居する親族

【貸付金額】1世帯150万円

▼問い合わせ/福祉事務所

☎(23)2111 内線1507

請時に確認します。本人確認できるもの(運転免許証、健康保険証、前年度固定資産税納税通知書など)を持参してください。

※代理人が縦覧する場合は、納税者本人が自署・押印した委任状が必要です。

【縦覧できる項目】

土地(所在、地番、地目、地積、評価額)、家屋(所在、家屋番号、種類、構造、床面積、評価額)本人所有以外の土地や建物も縦覧できますが、所有者名や課税標準額、税額については縦覧できません。

▼問い合わせ/税務課

☎(23)2111 内線1309



犬の登録・ 狂犬病予防注射日程

※都合のよい会場を選んで必ず受けてください。

実施日	会場	時間
4 / 18(月)	比詰公民館前	9 : 30~10 : 00
	羽立中央公民館前	10 : 10~11 : 00
	小深見地区創明館前	9 : 30~10 : 20
	若美歴史学習交流館前	10 : 30~11 : 20
4 / 19(火)	潟端地区集会施設前	11 : 30~11 : 45
	男鹿市役所前	9 : 30~11 : 00
	鷗木小学校前	9 : 30~10 : 00
	若美文化交流館前	10 : 10~10 : 40
4 / 20(水)	若美文化振興館前	10 : 50~11 : 25
	福川生活総合センター前	11 : 35~11 : 45
	平沢十王堂前	9 : 00~9 : 20
	増川公民館前	9 : 30~10 : 00
	女川漁民研修センター前	10 : 10~10 : 40
	椿漁民研修センター前	11 : 00~11 : 20
	野石町内会館前	9 : 30~10 : 05
	土花朋友館前	10 : 15~10 : 30
4 / 21(木)	福米沢地区センター前	10 : 40~11 : 15
	本内生活総合センター前	11 : 25~11 : 45
	加茂バス停前	9 : 30~9 : 40
	戸賀出張所前	10 : 00~10 : 20
	名勝館(旅館)前	10 : 40~11 : 00
	西黒沢公民館前	11 : 20~11 : 40
4 / 22(金)	玉ノ池児童館前	9 : 30~10 : 05
	釜谷地地区集会施設前	10 : 15~10 : 45
	宮沢生活総合センター前	10 : 55~11 : 35
	北浦出張所前	9 : 30~10 : 30
	真山公民館前	10 : 40~11 : 00
	安全寺公民館前	11 : 10~11 : 30
4 / 23(土)	五光明児童館前	9 : 30~10 : 00
	八ツ面神社前	10 : 10~10 : 25
	申川町内会館前	10 : 35~10 : 50
	福野町内会館前	11 : 00~11 : 15
	船越出張所前	9 : 00~11 : 00
4 / 25(月)	若美コミュニティセンター 車庫前	9 : 30~11 : 30
	滝川公民館前	9 : 30~9 : 50
	男鹿中出張所前	10 : 00~10 : 20
4 / 26(火)	牧野入口バス停前	10 : 30~10 : 50
	三ツ森公民館前	11 : 10~11 : 20
4 / 27(水)	脇本出張所前	9 : 30~10 : 30
	樽沢生活総合センター前	10 : 45~11 : 15
	百川八幡神社前	11 : 30~11 : 50
4 / 28(木)	鮎川公民館前	9 : 30~9 : 50
	箱井公民館前	10 : 00~10 : 20
4 / 28(木)	琴川公民館前	10 : 30~10 : 50
	戸嶋商店前	9 : 30~9 : 50
	高屋公民館前	10 : 00~10 : 20
	中石公民館前	10 : 30~11 : 00

犬の登録は生涯1回 予防注射は毎年1回

犬の登録と狂犬病予防注射を実施します。

登録は生涯1回ですので、一度登録した犬には必要ありません。

ただし、予防注射は毎年必要です。愛犬手帳(新規登録の方は当日交付)を持参のうえ、左の表のいずれかの会場を受けてください。

期間中どうしても受けられない方は、動物病院で予防注射を受けて「注射証明書」をもらい、愛犬手帳と一緒に持参して届け出てください。

●注射済票交付手数料 / 550円

また、飼い主が死亡したり、所在地や所有者に変更があったり、鑑札を紛失したときなどは、愛犬手帳と鑑札(紛失した場合を除く)を持参のうえ、届け出てください。届け出

先は男鹿市役所環境防災課または若美総合支所環境建設課です。

※愛犬手帳には住所・氏名などを記入して大切に保管してください。

●注射料金 / 3070円

●登録手数料 / 3000円

▼問い合わせ /

環境防災課

☎(23)2111 内線2809

環境建設課

☎(46)2113

合併処理浄化槽の設置に補助します

生活排水による公共用水域の水質汚濁防止を図るため、一般家庭に合併処理浄化槽を設置する場合、費用の一部を補助します。

地域の方は7人槽5基

【申し込み】①の方は男鹿市役所環境防災課へ、②の方は若美総合支所環境建設課へお申し込みください。

※各予定数を上回った場合は抽選し、予定基数に達しない場合は以後申し込み順に受け付けます。

※補助該当となつた方には書類を送付します。その書類を提出してから工事着手となります。

【対象地域】

①男鹿中・椿・戸賀の全域と船川港・船越・脇本・北浦・五里合の一部地域

②福野・申川・八ツ面・玉ノ池・美野・五光明の全域

【募集枠】①の地域の方は5人槽7基、7人槽11基、10人槽1基、②の

地域の方は7人槽5基

【申し込み】①の方は男鹿市役所環境防災課へ、②の方は若美総合支所環境建設課へお申し込みください。

※各予定数を上回った場合は抽選し、予定基数に達しない場合は以後申し込み順に受け付けます。

※補助該当となつた方には書類を送付します。その書類を提出してから工事着手となります。

【申し込み期限】4月15日(金)まで

▼問い合わせ

環境防災課

☎(23)2111 内線2808

環境建設課

☎(46)2113

募集

全県クロスカントリー大会を開催します

【日時】 4月24日(日)

午前10時～

【会場】 寒風山特設コース

【種目】

◆小学校5～6年男子の部・女子の部1000m

◆中学校男子の部・女子の部3000m

◆一般・高校男子の部・女子の部3000m

◆一般男子40歳以上の部3000m

◆一般・高校男子の部9000m

【参加資格】

平成17年度秋田陸上競技協会登録登記者(中・高体連登記者を含む)ただし小学生はこの資格は不要。

▼問い合わせ／スポーツ振興課
☎(23)2111内線21153

若美親善駅伝大会 参加チーム募集

【日時】 4月28日(金)

午前8時30分スタート

【競技方法】

原則として町内会単位(編成が困難な場合はブロック単位を認める)

【チーム編成】

正選手7人、補欠2人、監督1人

【参加資格】

①市内在住または市内に勤務している健康な方

②高校生および中学生(4人まで)の一般の部登録を認めます。

【申し込み】

4月15日(金)まで

▼問い合わせ／若美総合体育館
☎(46)31113

レクリエーション農園 使用者募集

野菜や花の栽培は、健康増進や豊かな情操の育成に最適です。家族で土に親しみ、収穫の喜びを味わってみませんか。市内在住で耕地を有していない方を対象に使用者を募集します。

【場所】

船越字サツピ

【区画数】 26区画(原則として1世帯1区画。1区画は約50㎡、約15坪)

【応募期限】 4月6日(水)

▼問い合わせ／農林水産課

☎(23)2111内線2206

定期救命講習会

【日時】 4月17日(日)

午前9時～12時

【会場】 男鹿地区消防本部

【内容】 救急車が到着するまでの応急手当など。受講料無料。

【申し込み】 4月16日(土)まで

▼問い合わせ／男鹿地区消防本部
☎(23)3139

税務職員募集

仙台国税局では、地元の大学に通う方や、首都圏からリターンして公務員を目指す方など東北の風土に慣れ親しんだバイタリティあふれる職員を募集しています。今回は大学卒業程度の試験を行う「国税専門官」を募集します。

【受験資格】

①昭和53年4月2日から昭和59年4月1日の間に生まれの方

②昭和59年4月2日以降に生まれた方で、大学を卒業した方および平成18年3月までに卒業見込みの方、また人事院がそれと同等の資格があると認める方

【受付】 4月15日(金)まで

【申込書の請求】 最寄りの税務署、仙台国税局人事第二課、人事院東北事務局のいずれか

▼問い合わせ／仙台国税局
☎022(263)1111

お知らせ

資源回収団体に 奨励金を交付します

ごみ減量化対策として、資源回収を行う団体へ奨励金を交付します。

【補助対象】

①各種市民団体(老人クラブ、子ども会、町内会、婦人会など)

であること

②年2回以上実施すること

③対象品目は、空き瓶類(1升瓶、ビール瓶、ジュース瓶)・金属類(空き缶など)・古紙類(新聞紙、雑誌、広告紙・ダンボールなど)

【奨励金の内訳】

①年額7000円

②1回につき5000円

③1回の売上げの2割(10円未満は切り捨て)

【申し込み】 平成18年3月31日まで(実施前に申し込みが必要です)

▼問い合わせ／

環境防災課
☎(23)2111内線2809

環境建設課

☎(46)2113

水洗便所改造融資の あつせん

金額および条件が次のとおりになります。

①供用開始から3年以内

②最高80万円まで

③くみ取り便槽が2個以上の場合、便槽1個につき50万円以内(上限200万円)

④融資日は取り扱い金融機関による

⑤返済方法は50カ月以内の月割り返済

⑥利子は市で負担

▼問い合わせ／環境建設課
☎(46)2113

母子・寡婦家庭に 福祉資金を貸し付け

高校、大学、専修学校に修学させるための授業料や交通費として必要な「修学資金」、技能や資格を得るための授業料や交通費として必要な「技能習得資金」、配偶者が亡くなって5年未満の場合、生活の安定を図るための「生活資金」、住宅の増改築や補修、保全のための「住宅資金」など、目的に応じた貸付制度がありますので、お気軽にご相談ください。

▼問い合わせ／福祉事務所

☎(23)2111内線1504

みんなでつくろう！ きれいな秋田

県では、4月の第2日曜日を「あきた・ビューティフル・サウンデー」として、身近な環境をみんなできれいにするための活動の日としています。家族や友達同士で声をかけあって、自宅の周りなど身近な場所をきれいにしましょう。

また、4月は「あきた・クリーン強化月間」です。県内各地で市町村や自治会などが主催するクリーンアップが行われますので、積極的にご参加ください。

▼問い合わせ／県環境政策課

☎018(860)1601

全員参加できれいなまちづくり

市内各地で
クリーンアップ
を実施します

本格的な観光シーズンの始まりに、男鹿の豊かな自然景観をより美しくするため、各町内の道路をはじめ幹線道路、海岸、湖岸など公共用地を一斉に清掃します。協力し合って美しい男鹿をつくりましょう。

全市一斉清掃 (旧男鹿市地区)

4月22日(金)
午前5時～7時

【清掃区域】

国道101号ほか幹線道路と各町内・周辺道路全域

※集めたごみは、各町内会でそれぞれの集積所を利用し、2・3カ所ぐらいにまとめてください。家庭ごみは対象になりませんのでご注意ください。

▶問い合わせ/環境防災課

☎ (23)2111内線2807

八郎湖クリーンアップ作戦

(旧若美町地区)

4月10日(日)
午前6時～7時30分

集合時間は午前5時50分です。集合場所は若美地区家庭に全戸配布したチラシでご確認ください。

▶問い合わせ/環境建設課 ☎ (46)2113

今年のチユールリップまつりは中止となりました

毎年4月に若美町で開催してきたチユールリップまつりは、今年は都合により中止となりましたのでお知らせいたします。

▼問い合わせ/

J A秋田みなみ若美支所
☎ (46)22211

個人情報保護法が
全面施行されます

誰もが安心してIT社会の便益を受けるための制度的基盤として、個人情報保護法が4月1日から全面施行されます。個人情報取り扱い事業者は、個人情報の利用目的を明らかに

し、その範囲内で取り扱わなければなりません。また、本人の同意を得ずに個人データを第三者に提供することは原則禁止されるほか、安全管理措置、従業員や委託先の監督など個人情報の適正な取り扱いに関するルールが適用されます。

自分の個人情報について事業者に開示を求めることができ、個人情報に関するトラブルや疑問は、事業者に申し出るほか、認定個人情報保護団体や地方公共団体、国民生活センターの苦情相談窓口などで相談できます。詳しくは内閣府ホームページ <http://www5.cao.go.jp/sekatsu/koujin/index.html> もご紹介しています。

春から読書を始めよう!!
移動図書館「よむかせ」が巡回します

日にち	場 所
4月13日(水)	▶樹園 (10時～) ▶椿郵便局 (11時20分～)
5月11日(水)	▶戸賀集会所 (13時20分～)
6月8日(水)	▶男鹿中郵便局前 (14時25分～) ▶三ツ森町内会館 (15時5分～)
4月20日(水)	▶寿恵園 (9時20分～)
5月18日(水)	▶五里合小学校 (10時25分～)
6月22日(水)	▶五里合公民館 (11時～) ▶若美コミュニティセンター (13時10分～)
	▶北浦公民館 (14時30分～) ▶北浦農協前 (15時～)
4月27日(水)	▶男鹿の郷 (9時40分～)
5月25日(水)	▶脇本第二小学校 (10時20分～)
6月29日(水)	▶たむらクリニック裏 (10時50分～) ▶脇本公民館 (11時20分～) ▶船越公民館 (13時10分～) ▶長沼団地 (13時50分～) ▶脇本加藤造園 (14時50分～)

※市立図書館で借りた本を返すことができます。



日暮らし

宮部みゆき著……講談社

多くの者の運命を変えた女、葵が殺された。殺したのは本当にあいつなのか? 待望の『ぼんくら』続編。



さまよう刃

東野圭吾著……朝日新聞社

一人娘を殺された父が犯人の少年を殺害。被害者遺族の報復は果たして許されるのか。

眉山

さだまさし著……幻冬舎

幸せ生活のためのマネー哲学

鎌田なお子著……幻冬舎

いま話題の本

市立図書館 ☎ (23) 2552

【4月の休館日】

1日(金)・15日(金)

17日(日)・29日(金)

子育て応援します



◆保健センターを開放します

乳幼児とその保護者や妊娠中の方に保健センターを開放します。おやつや飲み物の持参も自由です。

●日時／4月19日(火)・27日(水)
午前10時～12時

▶詳しくは保健センター☎(24)3400へ

◆船越児童福祉センターにおいでよ!

保育園入園前のお子さんとその保護者のために、船越児童福祉センターを会場に「わくわくひろば」や「どんぐりひろば」などを実施しています。たくさんの友達と遊ぶことができ、保護者同士も楽しく交流できます。気軽に参加して友達づくりしませんか。

▶詳しくは船越児童福祉センター内の子育て支援センター☎(35)4188へ

◆すくすく子育て教室で仲間づくり

幼稚園や保育園に就園前のお子さんとその保護者の交流の場です。4月・5月の会場はすべて若美コミュニティセンターとなります。お気軽にご参加ください。

●開催／毎週水曜日

●時間／午前10時～午前11時30分

▶詳しくは若美幼稚園内子育て支援担当☎(46)3333へ

男鹿市の児童館は次の5カ所です

- ・羽立児童館 ☎(24)3509
- ・増川児童館 ☎(24)3010
- ・樽沢児童館 ☎(25)2710
- ・大倉児童館 ☎(25)3622
- ・湯本児童館 ☎(33)2100

健康相談をご利用ください

4月14日(木)・20日(水) 午前9時～12時
保健師 栄養士が無料で相談に応じます。お気軽においでください。

▶保健センター ☎(24)3400
市民生活課 ☎(46)2114

乳児健診・予防接種のお知らせです

保健センター ☎(24)3400
市民生活課 ☎(46)2114

乳児健診を実施します

1歳6カ月児健診と3歳児健診は男鹿会場となります。4・7・10カ月児健診については基本的に旧若美町地区の方は若美会場で、旧男鹿市地区の方は男鹿会場で受診することになりますが、他地区での受診を希望される場合は、事前にご連絡ください。

【若美会場】(場所/若美コミュニティセンター 受付時間/12時30分～13時)

健診名	日にち	対象	持ち物
4カ月児健診	4月12日(火)	平成16年12月生まれ	母子健康手帳、バスタオル、記入済みのアンケート用紙、交換用オムツ2～3枚
7カ月児健診	4月12日(火)	平成16年8月生まれ	
10カ月児健診	4月12日(火)	平成16年5月生まれ	

【男鹿会場】(場所/男鹿市保健センター 受付時間/13時～13時30分)

健診名	日にち	対象	持ち物
4カ月児健診	4月20日(水)	平成16年12月生まれ	母子健康手帳、バスタオル、記入済みのアンケート用紙、交換用オムツ2～3枚
7カ月児健診	4月28日(水)	平成16年8月生まれ	
10カ月児健診	4月21日(水)	平成16年5月生まれ	
1歳6カ月児健診	4月14日(水)	平成15年9月生まれ	母子健康手帳、バスタオル、記入済みのアンケート用紙、幼児用歯ブラシ、コップ、(3歳児は採尿済みの採尿容器)
3歳児健診	4月7日(水)	平成13年10月生まれ	

ポリオ・BCGの予防接種を実施します

会場の(若)は若美コミュニティセンター・(保)は保健センター

◆ポリオ予防接種日程(対象者…生後3カ月～90カ月)

実施日	会場	受付時間	対象地区
4月13日(水)	(若)	13時～13時30分	旧若美町地区
4月18日(月)	(保)	13時30分～14時	船越
4月25日(月)	(保)	13時30分～14時	戸賀・北浦・男鹿中・脇本
5月9日(月)	(保)	13時30分～14時	船川

※ポリオは経口投与2回(できれば春・秋に1回ずつ)、1歳半までに完了することが望ましいとされています。

◆BCG予防接種日程(対象者…生後直後～6カ月未満) (対象地区…市内全域)

4月20日(水)(保) …	4カ月児健診とともに接種希望の場合 13時～13時30分 予防接種のみ希望の場合 13時30分～14時
5月18日(水)(若) …	13時～13時30分

【接種前の注意】

①市で配布した予防接種手帳をよく読み、予防接種の必要性や副作用について事前によく確かめてください ②前日に入浴などをさせて体を清潔にし、当日は清潔な衣類を着用させてください ③子どもの日ごろの状態をよく知る保護者が同伴し、接種前に子どもの体調がよいか確かめてください ④母子健康手帳、記入・署名済みの予診票を忘れずに ⑤会場で体温を測り、37.5℃を超える場合は接種できません ⑥不明な点は接種前に医師に質問し、納得した上で受けてください

2005 4 月のカレンダー

1 (金)		16 (土)	
2 (土)		17 (日)	
3 (日)		18 (月)	
4 (月)		19 (火)	• どんぐりひろば (9:30~船越児童福祉センター)
5 (火)	• 小・中学校始業式	20 (水)	• すくすく子育て教室 (10:00~若美コミュニティセンター)
6 (水)	• 小・中学校入学式 (小学校 10:00~・中学校 13:00~) • すくすく子育て教室 (10:00~若美コミュニティセンター)	21 (木)	• わくわくひろば (9:30~船越児童福祉センター)
7 (木)	• 0歳児わくわくひろば (9:30~船越児童福祉センター)	22 (金)	
8 (金)	• 盆栽菊教室 (9:00~男鹿中公民館)	23 (土)	• 市中学校春季体育大会 (市営球場ほか) • 日本語教室開講式 (10:00~脇本公民館)
9 (土)		24 (日)	• 全県クロスカントリー大会 (10:00~寒風山) • 盆栽の手入れ講習会 (13:00北浦市民センター)
10 (日)		25 (月)	
11 (月)		26 (火)	• どんぐりひろば (9:30~船越児童福祉センター)
12 (火)		27 (水)	• すくすく子育て教室 (10:00~若美コミュニティセンター)
13 (水)	• すくすく子育て教室 (10:00~若美コミュニティセンター)	28 (木)	• わくわくひろば (9:30~船越児童福祉センター)
14 (木)	• わくわくひろば (9:30~船越児童福祉センター)	29 (金)	• 五里合地区祭典駅伝大会 (8:30~五里合) • 若美親善駅伝大会 (8:30~若美)
15 (金)		30 (土)	

若美地区の粗大ごみ収集 4月が搬入の月です

4月は若美地区の粗大ごみ搬入月です。決められた搬入日に申川不燃物処理場へ搬入してください。搬入の方法はこれまでと同じです。

【搬入日】

3日(日)・6日(水)・7日(木)・9日(土)

10日(日)・13日(水)・14日(木)・16日(土)

▶問い合わせ/環境建設課 ☎(46)2113

献血にご協力ください

保健センター ☎(24)3400

市民生活課 ☎(46)2115

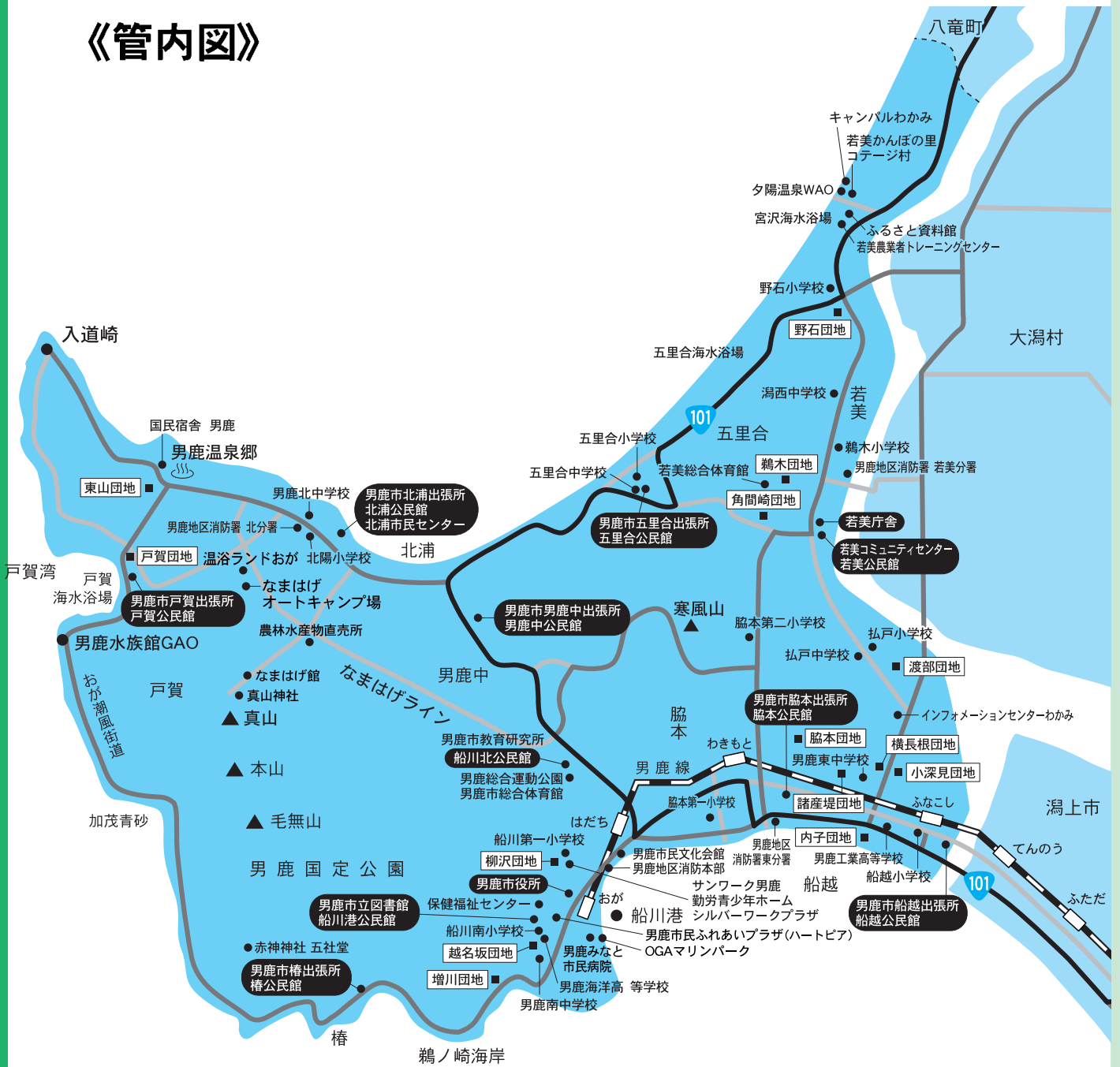
4月6日(水)

若美庁舎	9時30分~11時
石油資源開発(株)申川鉱場	11時30分~12時30分
(資)刈刈自動車	13時45分~14時30分
若美社会福祉協議会	15時~16時

4月28日(木)

男鹿警察署	9時30分~10時50分
男鹿清掃興業(株)	12時~13時
寿恵園	13時30分~15時
男鹿みなと市民病院	15時15分~16時30分

《管内図》



編集うらばなし

- ▶ 新生男鹿市が誕生して、初めての「広報おが」。いろいろな方に迷惑をかけながら、やっと完成しました。まだまだ完璧とは言えませんが、近づけるよう日々勉強しながら、がんばっていきます。(原)
- ▶ 新しい「男鹿市」とともに、「広報おが」も創刊しました。市民のみなさんに愛される広報紙を目指していきたいと思ひます。取材で伺った際はよろしくお願ひします。(貴)

男鹿市の概況

- 人口 36,448人 (男=17,307人 女=19,141人)
 - 世帯数 13,256世帯
 - 総面積 24,080ha (平成15年現在)
- ※人口世帯数は2月28日現在の住民基本台帳による。

すくすく元気に育って!

第三子以降の新生児を出産した方にお祝金を支給しています。



高橋 諒太 ちゃん (脇本)
平成17年2月9日生まれ